食べるを支える 未来を守る







本市では、誰一人取り残すことなく安心してご飯を食べられる環境を、地域のみなさんとつくっています。
今回は食を通じてさまざまなサポートが受けられたり、人との温かいつながりが生まれたりする、そんな居場所をご紹介。
心も体も健康になれる空間に、足を運んでみてください。

こども食堂

子どもが1人でも安心して行くことができ、地域のボランティアの方などが無料または安価で食事を提供する場所です。地域の人々との交流の中で、子どもたちが自分らしく過ごせる「子どもたちの居場所」にもなっています。

対象者はこども食堂ごとに異なります。
開催状況など詳しくは右記2次元コードで確認してください。

▲市川こども食堂ネットワーク

子どもたちの居場所をつくる

開催日：平日の夕方、休日の昼間 など　場所：公民館、自治会館、公共施設、レンタルスペース など
スタッフ：子どもが好きなボランティアの方、NPO団体、自治会の青年部 など

おいしい食事
◎ハンバーグ、唐揚げなど（調理）
◎市販のお弁当　◎お菓子のプレゼント など





◀▼こども食堂ごとに食事内容が変わります



居心地のいい空間
◎おもちゃやボードゲームなどの提供
◎スタッフや出会った友達と一緒に遊べる場
◎学習支援　◎各種イベント（ビンゴゲーム、紙芝居など）



▲佐々木さん（新田ポケット23代表）

小さな一歩が、大きなつながりに

こども食堂に興味を持った方には、「まずは行動してみよう」と伝えたいです。
私も最初は何から始めればいいか分からず、市川こども食堂ネットワークへ相談しました。既存のこども食堂の見学やアドバイスを通じて支えてくれる新しい仲間や地域との「つながり」が生まれ、活動を具体的にイメージできるようになり、開設に踏み切りました。
始めてみると課題は出てきますが、工夫を重ね、利用する方に喜んでもらえた時には「もっと居心地のいい空間にしたい」とやりがいを感じます。困った時には相談できる仲間もいます。まずは一歩、踏み出してみませんか。

参加しよう！ 始めてみよう！

関わり方

●ボランティア
調理や学習支援、子どもの見守りなど、好きなことや得意なことで子どもと関わってみませんか。

●寄付する
食材などの寄付でこども食堂を応援することもできます。
問 市川こども食堂ネットワーク（右上記2次元コード参照）

始めたい人をサポートします

●令和9年2月まで 新規の団体を支援します
今年度新たにこども食堂を始めた団体に、その開設にかかる備品購入費などを補助します（上限30万円）。詳しくは 市WEB ID 83311

●こども食堂新規開設ハンドブック
本市でこども食堂を始める際に必要な情報や、事例集などをまとめています。 新 こども家庭施策課で配布の他、 市WEB ID 4833 に掲載しています。

●気になったら気軽に相談
新規開設に関する相談や、ボランティアに参加したい方などをサポートします。どんなことでもお問い合わせください。
問 上記2次元コードまたは☎711-0677こども家庭施策課

いちカレ

本市では、日々の生活に困窮している方などに、国民食であるカレーライス（愛称：いちカレ）を無料で提供しています。食の支援だけではなく、利用者が気兼ねなく立ち寄れることのできる場所となり、心の支えにもなっています。

こんな想いがこもっています

和洋女子大学の学生に「幅広い年代で食べやすく栄養がある」カレーのレシピを3種類考案していただきました。

ホッとできるような味になるよう考案しました。
このカレーを食べてリラックスしてもらい、力をつけていただきたいです。

メニューと注目の栄養素！
●腸活カレー（食物繊維）
●筋力維持カレー（タンパク質）
●鯖さば Çavaカレー（カルシウム）



▲レシピを考案した和洋女子大学の学生たち

令和9年2月まで いちカレの輪を広げます

実施店舗（4カ所）に加え、新たに1日5カ所程度、キッチンカーで提供場所を拡大します。
提供場所など詳しくは 市WEB ID 74680 または☎712-8518地域共生課

実施店舗

❶Bite（南行徳3-4-14ホワイエ南行徳2階）
日月曜日＝正午～午後2時、日・木曜日＝午後2時30分～4時30分、いずれも祝日を含む

❷G.CAFE（押切20-7行徳キリスト教会内）
日金曜日（祝日除く）、午前11時30分～午後3時

❸café★レストランいつものところ（南八幡4-8-9-202）
日火・水・金曜日（祝日を含む）、午前11時～午後7時

❹いきいきセンター市川（市川2-33-6）
NPO法人東京ソテリアが提供しています。
日月曜日（祝日の場合、翌火曜日）、正午～午後2時



キッチンカー

日提供場所ごとに曜日が異なります。
午前11時～午後2時
場公園・公民館など。
右記地図参照





フードリボンプロジェクト

加盟店舗（飲食店）を利用するお客様からの「1口300円」の寄付がフードリボン（食券）に変わります。
子どもたちがフードリボンを使うことで、無料でおいしいご飯を食べられます。
「リボンで紡ぐ優しさの循環」が、この事業の魅力です。

対象者は加盟店ごとに異なります。店舗など詳しくは 市WEB ID 2926

子どもたちへ 小さな冒険に出かけよう！ フードリボンを使うステップ

黄色に輝く旗があるお店に入ろう





虹色のリボンを手に入れよう

マスター（お店の人）に渡そう



いただきます！



ごはんを食べてパワーを手に入れた！

子どもたちが使うチャンスを増やします

●小・中学生向けの体験チケット
フードリボンをもっと身近に感じてもらうため、市立学校に通う小学4年～中学3年生を対象に「フードリボン体験チケット」を各学校経由で配布します。
子どもたちは加盟店舗にチケットを提出することで、リボンと同様にご飯を食べる体験ができます。
日11月中旬ごろ配布予定
問 市立学校からの受け取りが難しい方は☎711-0677こども家庭施策課



●フードリボン体験会
会場入り口で配布するチラシに付いた「体験チケット」を使って、フードリボンを疑似的に体験することができます。
日 場 第1回＝12月13日（日）／ぴあぱーく妙典COCO
第2回＝令和9年2月6日（土）／県立現代産業科学館（鬼高1-1-3）
いずれも午前11時～午後4時、雨天決行・荒天中止
人市内在住の小・中学生と保護者など

飲食店のみなさんへ

子どもたちを支援しよう

加盟店舗が増えることで、地域で子どもを支える環境づくりや子どものよりどころができ、身近に温かいコミュニティーが生まれます。地域がもっと明るくなる未来のため、飲食店のご参加をお待ちしています。
問☎711-0677こども家庭施策課